

奥山昂雅さん(自然科学研究科材料生産システム専攻・博士前期課程 1 年)が日本材料試験技術協会・第 8 回若手研究者ポスターセッションにおいて優秀発表賞を受賞しました。

令和 7 年 10 月 30 日に東京都市大学世田谷キャンパスにて開催された日本材料試験技術協会・第 8 回若手研究者ポスターセッションにおいて、自然科学研究科材料生産システム専攻機能材料科学コース・博士前期課程 1 年の奥山昂雅さんの「陽極酸化 TiO_2 皮膜の微細組織および機械的特性に及ぼす水熱処理条件の影響」という研究発表が優秀発表賞を受賞しました。本研究は、インプラント用金属材料の表面被覆技術として注目されているマイクロアーク陽極酸化と、生体無機成分であるハイドロキシアパタイトを生成させるための水熱処理を組み合わせた複合生体皮膜の最適プロセス条件の検討に関するものです。高齢化が進む社会において、今後更に適用範囲拡大が予測されるインプラント治療の中で重要な材料技術となる、複合生体皮膜の開発を促進する研究です。

.....

指導教員：自然科学系（工学部）大木基史 准教授

